

ニカラグアの教員養成に携わって

櫻井 麻利子

(15-1, ニカラグア, 家政, 新潟県立白根高等学校)

1 ニカラグア共和国概要

ニカラグア共和国は北をホンジュラス、南をコスタリカと接し、日本の1/3ほどの面積を持っている。平均気温は約28℃であるが地域や季節により異なる。乾季は水事情が悪く任地では1週間～10日に一度しか水道水が供給されなかった。公用語はスペイン語。農牧業が主要産業となっている。スペインから独立後も内戦を繰り返して政情が安定せず、大地震やハリケーンなどの自然災害にも見舞われ、内戦が終結した現在もハイチに次ぐ中米最貧国となっている。

2 ニカラグアの学校教育

ニカラグアでの学校教育は小学校6年・中学校5年(前期3年・後期2年)・大学5年が基本である。小学校就学は6歳が基本であるが家庭の事情等で早まったり遅くなったりする場合が多く、各学年とも成績不振の場合は進級できないため、年齢には個人差がある。都市部の貧困層および地方の僻地を中心に就学経験のない子供、中退した子供が多くいる。小学校は午前・午後・成人向けの夜間、中学校と大学は午前・午後・夜間・土曜・日曜というようにそれぞれの学校が多くのコースを設けている。中学校5年卒業は日本の高等学校卒業にあたり、就職や進学に重要な意味を持っている。

3 配属先概要

(1) 教員養成学校の位置づけ

配属先のフィガルパ師範学校「グレゴリオ・アギラル・バレア」(チョンタレス県フィガルパ市)は全国に8校ある国立の小学校教員養成学校の1つで卒業すると小学校教員免許を取得できる。

全日制課程は中学3年修了後に3年間学ぶコースと中学5年卒業後に2年間学ぶコースがあり、約350名が在籍している。中学校(前期3年)も併設しているが2005年度より募集を停止した。年次経過により将来的には中学校と中学3年修了後に3年間学ぶコースはなくなり、中学5年卒業者しか入学できなくなる予定である。これは近隣国との足並みをそろえ、教員の質を高めるための教育文化スポーツ省の計画である。

通信制課程は無免許の現職教員を対象としており約1150名が在籍している。約2ヶ月ごとに1週間、および学校が休暇になる12-1月に集中講義を受けなければならない、全日制課程よりも就業年数が1年長い。

また、現職の幼稚園・小学校教員や指導主事らを対象とした研修施設の役目も果たしている。

(2) 履修科目

表 1 のように日本の大学の小学校教員養成学部・学科とほぼ同様の履修科目であるが、ニカラグアでは多くの小学校が夜間に成人学級を持っており、地方の僻地ではほとんどが複式学級であるため「複式学級及び成人学級教育法」は重要である。教育実習は毎週 1 回 4 時間の観察実習と卒業学年後期の半年間であり、日本に比べ大変長い。

表 1 教員養成コースの履修科目

一般 科目	スペイン語 社会（地理歴史・公民・倫理・政治・経済・社会学） 数学 理科 保健体育 情報 実技教科（音楽・ダンス・美術・図画工作・技術・ 家庭）
教職 科目	教育学 心理学 教育心理学 教育法一般 スペイン語教育法 社会科教 育法 算数教育法 理科教育法 体育教育法 実技教科教育法 幼児教育 及び障害児教育 複式学級及び成人学級教育法学校経営 評価統計技術 調査研究技術 教育実習 卒業論文

4 活動内容

配属先同僚教員はすべて大学卒で、県内外の幼稚園・小学校教員に対して研修等を行う指導的立場にある。しかし「家庭」「美術（図画工作）」「音楽」等の分野についてはほとんどの大学がその学科を持たないため、担当教員の専門性は低い。長年の経験から自分なりの指導スタイルを持ってはいるが知識・技術とも曖昧な部分が多い教員もあり、特に実習において実物見本や手本を見せながら指導することが少ないため生徒が戸惑っている様子も見られた。書物が少ないため有効な教材のアイデアも不足していた。紙や布などの材料を個人で用意することが困難な生徒もあり、一斉指導ができない状況もあった。

以上のことから「家庭」「美術（図画工作）」「幼児教育」「音楽」分野における実習授業の改善が私の主な活動となった。

(1) 授業における教材・アイデアの提案と実践

継続的に授業観察をしながら「家庭」「美術（図画工作）」「幼児教育」分野においては布を使った小物作り、刺繍、かぎ針編み、色紙・画用紙・身近な廃材を使った工作、教室用の飾り等、教育実習時からすぐに授業で使えるものと教員として身につけておきたい技術を中心に教材を提案し実践した。実習の準備・見本製作・授業での指示等は私が中心となっていくが、準備・授業中の机間巡視や指導等は担当教員に手伝ってもらい、チーム・ティーチングで行うようにしていた。



写真1 巾着袋・刺繍の基礎・かぎ針編みの財布（生徒作品）

「音楽」分野では担当教員が苦手とする楽譜の読みとりや正しい音程を取りながらの歌唱指導の場面で実技指導をした。また歌詞だけで楽譜のなかった幼児・児童向けの曲を担当教員に歌ってもらい私が楽譜に起こし、授業で使用した。

（２）選択授業の開講

選択授業として「リコーダー」と「手芸・工作」を開講した。

「リコーダー」は配属先が所有していたリコーダーを用いて初歩から練習を始めた。校内行事でステージ発表をした生徒たちもいた。必修授業の音楽では楽器を弾く機会がないので生徒の興味関心はとても高かった。授業に出席し一定以上の技術を身につけた６８名には「世界の笑顔のために」プログラム（ＪＩＣＡ）で新潟県立白根高等学校から寄贈された中古のリコーダーを全校集会で修了証と共に学校長から渡していただいた。卒業後各地の小学校での音楽授業に役立ててくれることを期待している。



写真2 リコーダー指導（中学１年生）

「手芸・工作」は参加生徒の希望を取り入れ、クリスマスなどの季節にちなんだ工作やマクラメ編みのブレスレット等を教材とした。たいていは午後に行っていたので、教育実習中

の最終学年の生徒たちもたびたび参加し、教材やアイデアを実習先の子供たちに実践していた。これは私にとって大変嬉しいことだった。



写真3 クリスマスのモビール（生徒作品）

（３）現職教員への研修

幼稚園・小学校教員、市町村教育省事務所の指導主事らが対象の研修会において講師のひとりとして「工作」「手芸」「リコーダー」を担当した。「工作」「手芸」では子供たちと作って遊べるもの、教室装飾に使えるもの、保護者への指導に役立つもの等を教材とし、講義に偏りがちな研修会に簡単で実用的な実習を数多く取り入れることができた。任期中にのべ４２日間の研修を行い、約１７０名の参加者があった。

私が関わる工作・手芸等の研修会や授業では、はさみやのり等必要な道具は生徒・受講生が持参するが、材料はまとめて購入し１人分ずつに分けてセットし、レジメをつけて実費を徴収するようにしていた。従来はすべて各自が材料を持参していたため、準備不十分で全員が一斉に実習をすることができなかつたり、材料や金銭に無駄が生じていたのである。普段から授業中にテスト問題用紙や参考資料のコピー代などをたびたび徴収しておりそれと同程度の金額であるので問題はなかった。この方法は担当教員にも生徒や受講生にも大変好評であった。



写真4 誕生日の壁面装飾（幼児教育専門研修）

5 学校教育と生徒の理解

地域内の幼稚園・小学校で授業観察をしたいと考えていたが日々の時間割が詰まっていたほとんど実施できず、学校現場の様子は師範学校の教員、教職に就いた卒業生、様々な出身地の生徒や研修会の参加者、主に僻地の小学校に勤務しつつ通信制で学ぶ生徒たちとの関わりの中から理解していった。研修会での研究発表や生徒の卒業論文などからも学校教育が抱える課題や問題点を知ることができた。

活動をスムーズにするために特に努力したのは教職員と生徒の名前を覚えることだった。休み時間や放課後にも教室や校庭、図書室や寄宿舎などに顔を出し、日常生活や出身地の様子、将来のことなど生徒とは常に会話をするようにしていた。

また、授業だけでなく、行事の観察・参加、教員対象の研修会や会議への参加、時間割作成や成績処理方法の観察など学校業務全般に関わるようにしていた。生徒と一緒にダンスの授業を受けて伝統舞踊の練習をし、学校行事で他の教員と共にステージ発表もした。

仕事が入っていない週末や長期休業中はニカラグア人の友人たちと日帰り旅行をしたり、生徒の出身地や自宅を訪ねる旅もした。生徒の半数以上は様々な面において利便性の高い、学校のある県都以外の出身である。地元のバス停等で待っていてもらったり、休暇で帰省するのに同行したり、日帰りが困難な場合は家に泊めてもらうこともあった。多くの生徒たちが電気・水道・ガスのない地域でどんな家に住み、何を食べ、どのような生活をしているのかを身をもって体験した。日本でも生徒の家族と会ったり家庭訪問をすることで学校では知り得ない新たな発見があるが、ニカラグアではそれ以上にいろいろなことに気づかされた。県都で都市型生活をする生徒たち、それとは異なる生活環境の僻地で教員をしようとする生徒たちに何をどんなふうに教えたらいいのかと考えさせられた。このようにしてニカラグア人との時間をたくさん持ち、深く生活を知ること、彼らに近いところで良い関係を保ちながら活動ができたと感じている。

6 ニカラグアの教員養成に携わって

着任翌日から授業での指導を始め、最終日も授業をして終わった。毎日通常授業終了後にも選択授業の指導をし、土日や長期休業中に行われる研修会や集中講義も手伝った。学校長を始め多くの教員たちから「いつも学校にいるわね」「本当に生徒たちが好きなのね」と言われており、その通りだった。ニカラグア教育制度や小学校教員養成についての理解、同じ教員としての同僚たちとの交流、現職小学校・幼稚園教員への研修会、後輩を育てている気持ちにさせられる教員養成コースの生徒たちへの指導と交流により毎日充実した気持ちで活動することができた。

大学の教育学部で家庭科教育と小学校教育を学び、現在は高等学校の家庭科教員である私にとって教員養成学校はとても興味深く、協力できる分野がたくさん存在していた。教科指導だけではなく、学級担任、生徒指導、学校行事の企画運営、その他様々な学校業務の経験から、労働条件や給料体系、学校教育が現在抱えている課題の理解まで、日本での教員経験のすべてが活動に生かされたと言える。教員をめざす多くの生徒が在籍し、現職教員の研修

センター的な役割も果たす教員養成学校を拠点として日本が教育分野で技術協力できることはまだまだいろいろとあるように思われた。

協力して様々な授業を共に実践してきた配属先の同僚たち、いつも友好的に接してくれた生徒たちに深く感謝し、今後は日本の生徒たちの目を広く世界に向けさせ、また日本をしっかり見つめさせることに経験を生かしたいと思っている。

ニカラグアの教員養成に携わって



青年海外協力隊15年度1次隊 ニカラグア共和国 家政
新潟県立白根高等学校教諭 櫻井麻利子

ニカラグア共和国



一般事情

面 積： 13. 0万平方キロ
日本の1/3 中米で最も大きい

人 口： 563万人（2004年）

首 都： マナグア市（約100万人）

気 候： 熱帯（雨季・乾季） 平均気温28℃

民 族： メスティソ 70% 白人系 17%
その他 インディオ 黒人

公用語： スペイン語

宗 教： 主にカトリック

主要産業： 農牧業（コーヒー・牛肉・サトウキビ・
トウモロコシ・米・バナナなど）

歴 史： 1821年 スペインから独立宣言
1838年 完全独立
政情安定せず
1972年 マナグア大地震
1979年 サンディニスタ革命
内戦勃発 激化
1990年 内戦終結
1998年 ハリケーンミッチ

所得が1日1ドル未満の人口割合： 45. 1%
(2002年)
成人識字率： 76. 7%（2002年）
初等教育就学率： 82%（2002年）
失業率： 11. 7%（2004年）

配属先

名 称: フィガルパ師範学校
“Gregorio Aguilar Barea”

Escuela Normal Regional
“Gregorio Aguilar Barea”

所在地: チョントレス県フィガルパ市

ニカラグアの学校教育

年齢	就学年数			
21	5年	大学	教員養成課程3年	教員養成課程2年
20				
19				
18	5年	2年 3年	中学校 中学校前期課程	
17				
16				
15	6年		小学校	
14				
13				
12	3年		幼稚園	
11				
10				
9				
8				
7				
6				
5				
4				
3				

教育課程

全日制 Cursos Reglares 約350名在籍

通信制 Cursos Profesionalización 約1150名在籍
免許未取得の現職小学校教員対象
スクーリング授業(集中講義)
4地区で実施
約2ヶ月ごとに1週間ずつ
12・1月の長期休業中に3週間
全日制より1年長い修業期間

履修科目(中学校前期課程)

- スペイン語
- 社会(地理歴史・公民)
- 数学
- 理科(生物・化学・物理)
- 保健体育
- 英語
- 情報
- 技術・家庭

履修科目(教員養成課程)

<一般科目>

- スペイン語
- 社会(公民・倫理・政治・経済・社会学)
- 数学
- 理科
- 保健体育
- 情報
- 実技教科
(音楽・ダンス・美術・図画工作・技術・家庭)

<教職科目>

- 教育学
- 心理学
- 教育心理学
- 教育法一般
- スペイン語教育法
- 社会科教育法
- 算数教育法
- 理科教育法
- 体育教育法
- 実技教科教育法
- 幼児教育及び
障害児教育
- 複式学級及び
社会人学級教育法
- 学校経営
- 評価統計技術
- 調査研究技術
- 教育実習
- 卒業論文

校 時

45分授業8限が基本 月・金に全校朝会

7:00～ 1～4限 休憩なし
10:00～ 休憩15分間
10:15～ 5～8限 休憩なし
13:15～ 昼休み45分間
14:00～ 9限～

活動内容

- 1 授業における教材・アイデアの提案と実践
- 2 選択授業の開講
- 3 現職教員への研修

1 授業における教材・アイデアの提案と実践 (2003・9月～)

実技教科 Actividades Prácticas

中学校前期課程

「家庭」分野

教員養成課程

「家庭」「図画工作」「美術」「音楽」

「幼児教育」分野

カウンターパート

<全日制課程>

A教諭(専門:社会)

家庭・技術・美術

B教諭(専門:社会)

家庭・技術

C教諭(専門:幼児教育)

幼児教育・音楽・家庭・

図画工作

<通信制課程>

D教諭(専門:社会)

家庭・技術・美術・

図画工作

E教諭(専門:スペイン語)

音楽

課 題

- ① 担当教員の専門性の低さ
→ 曖昧な知識と技術
見本をみせることができない
適切な教材設定ができない
- ② 材料購入が困難な生徒の存在
→ 一斉指導ができない

解決に向けて

- ① 教材・アイデアの提案
継続的な授業観察
実習題材の提案と教材化
材料準備方法の提案
参考資料の紹介 等
- ② 授業実践(チームティーチング形式)
- ③ 実践集の作成



2 選択授業の開講

- ① 工作と手芸
- ② リコーダー



「世界の笑顔のために」プログラム (JICA)
リコーダー提供申請 15・16年度分

- 新潟県立白根高等学校より中古品130本
- 優良生徒個人に贈呈
→ 練習意欲の向上に効果大
卒業後の音楽教育実践に期待
- 師範学校の備品として寄贈(アルト20本)



3 現職教員への研修 (2003・12月～)

師範学校
||
現職教員の研修施設

小学校・幼稚園教員
市町村指導主事 対象

現職教員研修会 複式学級指導

- ・現職小学校教員 約50名
(2003年12月 3週間)
- ・「工作」「手芸」「リコーダー」指導

現職教員研修会 幼児教育専門研修

- ・現職幼稚園教員・指導主事
約80名(2003・12～2004・5 8日間)
約20名(2003・7～12 9日間)
約20名(2004・11～12 10日間)
- ・「工作」「手芸」指導



生徒理解のために







勤務先のフィガルバ師範学校



小学校教員養成学校である



中学1年生の家庭科
巾着袋作り



「はじめに線を引きなさい。もう
終わった?」「はい」



一人一人にアドバイスする



「最初に1cm内側に
線を引かなきゃ。ね?」



「もう一回このあたりに線を
引いて縫いなさい」



かぎ針編み



ペンケースと巾着袋



短大1年相当の
調理実習



学生寮の食堂の調理場を
借りて実習を行う



鶏のトマトソース煮・ピラフ・
サラダの出来上がり



画用紙を使った工作



クリスマスツリー



母の日のメッセージカード



選択科目 リコーダー
中学3年



左手は上手に
扱えるようになった



学校行事で演奏することもある



意欲のある生徒は
地元の民謡も演奏
できるようになった



修了証を受け取った生徒たち



小学校教員の研修会



小学校教員の研修会



幼稚園教員の研修会



幼稚園教員は地域の女性に
手芸などを教えることもある



幼児教育担当教員と
共同で教えている



月に一回の研修で
手芸・工作を教えている



毎週月・金に
校庭で集会を行う



短大1年相当
ダンスの授業



行事で発表する機会が多い



募金イベントで
ダンスを披露



生徒は歌と踊りが大好き



地元の祭りでは牛もかせない



祭りの行進



ニカラグアはお祭りが大好き

発表ではDV(デジタルビデオ)も用いられました。この6ページ分の資料は、DV画面をもとにスライド風に編集しなおしたものです。